

フィンランド デジタルガバナメント戦略 2月

1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土: 33.8 万平方キロメートル(日本よりやや小さい)

人口: 約 551 万人(2018 年 12 月末時点)

政治体制: 連共和制

経済: 49,845ドル(2018 年, IMF)(約 499 万円)

・国連の[世界幸福度ランキング](#)(所得、健康と寿命、社会支援、自由、信頼、寛容さの要素を基準にランク付けされたもの)で 2013(7 位)、2017(5 位)、2019(1 位)

・国連の[電子政府ランキング](#)(オンラインサービスの質、通信インフラの状況、人的資源)で 2014(10 位)、2016(5 位)、2017(18 位)、2018(6 位)

2010 年 11 月に議会に提出された [Productive and innovative Finland – Digital agenda for the years 2011–2020](#) デジタルガバナメント戦略を開始した。目的はオープンデータの促進、市民中心サービスの促進、活動的な市民としての高齢者の地位の確保、持続可能な開発の支援である。その方針と実施計画は 3 年ごとに検討している。今回は 3 回目である。

2. [デジタル戦略\(2017–2019\)](#)

1) ビジョン

[Digital Finland](#) 世界で初めて、法律によりすべての市民は、居住地、収入のレベルに関係なく、デジタルサービスを使用する機会があります。



図 1 デジタルガバナメント戦略

2) 戦略

(1)戦略目的: 雇用と競争力

戦略目標

1. ビジネスと起業の条件を改善して競争力を高めま
2. 仕事を妨げる制度を削除し、構造的な失業を減少させます。
3. 会社レベルの雇用制度を改善し、雇用に対する障壁を取り除きます。
4. 雇用を支援する労働管理を改革します。
5. 住宅の増設を促進します。

(実施計画省略)

(2)戦略目的: 知識と教育

戦略目標

1. 包括的な学校向けの新しい学習環境とデジタル教材をつくります。

- 2.職業高等学校の教育改革を行います。
- 3.柔軟なキャリアアップ教育体制を加速します。
- 4.芸術と文化の教育を改善します。
- 5.イノベーションを市場にもたらすための教育機関、研究機関と企業との緊密な協力体制を推進します。
- 6.青少年の生活保証からコミュニティでの保証へ移行します。
(実施計画と成果+評価は省略)

(3)戦略目的:健康と幸福

戦略目標

- 1.自己管理の支援システムを強化します。
- 2.健康と福祉の支援を促進し、不平等を減少させます。
- 3.子どもと家族のサービスのプログラムを再構築します。
- 4.高齢者向けの在宅ケアを開発し、すべての年齢層の個人ケアを改善します。
- 5.仕事の能力が損なわれている人々のキャリアアップの機会を増やします。

(実施計画と成果+評価は省略)

(4)戦略目的:[生物経済](#)とCO2 排出削減サービス

戦略目標

- 1.費用対効果の高い方法で[カーボンフリー](#)の再生可能なエネルギーを推進します。
- 2.木材利用の高価値化と森林からの新製品を推進します。
3. [サーキュラー・エコノミー](#)へのブレークスルーと[クリーンソリューション](#)の採用を推進します。
- 4.フィンランドで経済的に実行可能な食料生産、バランスの取れた貿易と [Blue bioeconomy](#) を促進します。
- 5.信頼と公正な手段に基づく自然政策を実施します。

(実施計画と成果+評価は省略)

(5)戦略目的:デジタル化、実験、規制

戦略目標

- 1.公共サービスをデジタル化します。
- 2.デジタル事業の成長を助ける環境を整備します。
- 3.規制の簡素化を行います。
- 4.実験する文化を育てます。
- 5.政府のリーダーシッププロセスをデジタル戦略と調和させます。

(実施計画と成果+評価は省略)

(6)戦略目的:改革

戦略目標

- 1.保健サービスと社会サービスの改革を実施します。
- 2.公共部門全体のコスト削減を行います。
- 3.自治体の役割を定義して、州政府、中央政府との関係を見直します。

- 4.州政府の改革を行います。
- 5.中央政府の改革を行います。
(実施計画と成果+評価は省略)

(7)戦略目的:[リンチピン・プロジェクト](#)

戦略目標

1. フィンランドの外交および安全保障政策に関する政府報告書
-2016年6月に承認されました。
- 2.持続可能な開発のためのグローバルな2030アジェンダに関する国家プログラムの政府報告書
は、2017年2月に承認されました。
3. 持続可能な開発のためのグローバルなアジェンダと共通の目的を含むフィンランドの開発政策
プログラムは2016年2月に採択されました。

(以下省略)

3. [5G戦略\(2019-2025\)](#)

1)ビジョンと目的

[5G戦略](#)

フィンランドを通信ネットワークの世界的リーダーに変える。
フィンランドをデータ、人、物の移動の中心地(hub)にする。

2)戦略

- (1)戦略目的:5Gネットワーク構築を促進するための[スペクトル政策](#)
[スペクトラム政策定義](#)

戦略目標

- 1.2019年初頭から[ワイヤレスブロードバンド](#)で3.5GHzスペクトルの使用を展開します。
- 2.26GHzスペクトルの一部は2018年に導入し、2020年にはすべてに導入します。

(2)戦略目的:費用対効果の高い、迅速なネットワーク構築の促進

戦略目標

- 1.ワンストップショップの許可手続きを開発します。
- 2.地下電力ケーブルに接続した[パッシブインフラストラクチャ](#)の構築を促進します。
- 3.国有地への基地局の配置を促進します。
- 4.ネットワークの共同構築と利用をケーブル情報のセキュリティと同様に促進します。
- 5.地方自治体の免許手続きの合理化を支援し、地方自治体の新しい建設技術を導入を奨励します。

(3)戦略目的:適切な投資と資金の確保

戦略目標

- 1.自治体の[WiFi4EU](#)資金の利用を促進します。
- (4)戦略目的:市場機能の促進
- 1.オープンネットワークを促進し、地域競争を創出します。
 - 2.パッシブインフラストラクチャのリースを促進し

3.高速接続の需要を喚起します。

(5)戦略目的:研究とイノベーションの支援

戦略目標

1.テスト実施とイノベーションプロジェクトの支援を促進を継続します。

2.製品開発およびテスト用の無線ライセンスの発行を続けます。

3.イノベイティブな公共調達を促進します。

(6)戦略目的:[インテリジェント輸送](#)および輸送自動化の開発のためのネットワーク政策支援

ポリシーによるサポート

1.5G ネットワークアクセス権を準備するときに、モバイルネットワークの[インテリジェント輸送](#)な輸送需要を評価します。

2.自動運輸システムの需要に対して固定ブロードバンドの可用性を促進します。

4.[AI 戦略](#)(2019-2025)

1)ビジョン

フィンランドを人工知能の応用で先進国にする。

1) 戦略(2025 達成)

1.フィンランド、才能を引き付けることができる競争力のある国

2.教育の最も進んだ国

3.十分な情報を持ち自立した市民

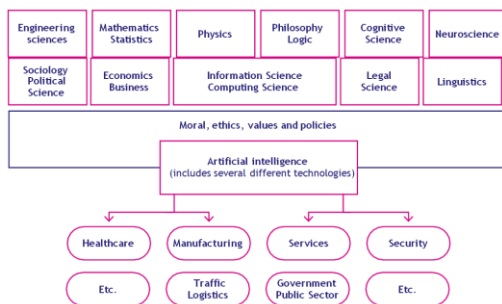


図 2 AI 戦略参加専門家の構成

(1)戦略目的

1.AI の使用によるビジネスの競争力の強化

2.すべての部門でデータの効果的活用

3.AI をより迅速かつ簡単に採用できる保証

4.トップレベルの専門知識を確保し、トップの専門家の参入促進

5.大胆な意思決定と投資

6.世界最高の公共サービスの構築

7. コラボレーションの新しいモデル確立

8.人工知能の時代の先駆者フィンランド

*人工知能の倫理とセキュリティの確立

9.仕事の性質を変える人工知能の準備

10.信頼に基づいた人間中心の AI 開発

11.セキュリティの確立